

講義科目 : 福祉心理演習	単位数 : 4
担当 : 長友 薫輝	学習形態 : 必修科目
	* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

受講生各自の関心にしたがって自由にテーマを選択したうえで、調査・研究し、卒業論文を作成することが目標である。テーマは社会福祉学以外のもので構わない。

本演習は次の3点を重視している。

①受講生の自主的な行動、②グループでの協同行動を学ぶ場（他人とつながる場）、③社会人として必要な基礎的教養を身につける場、である。

授業計画

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1) 各自のテーマ設定 | 2) 調査・研究の方法 |
| 3) 文献資料の読み方 | 4) 調査・研究の対象 |
| 5) 予備調査へ向けての報告 | 6) 予備調査 |
| 7) 本調査へ向けての準備 | 8) 本調査 |
| 9) 調査結果の集計 | 10) 調査結果報告 |
| 11) 地域づくりに関わる | 12) 施設・事業所訪問 |
| 13) 卒業論文執筆に向けて | 14) 卒業論文作成 |
| 15) 卒業論文中間報告 | |
| 16) グループワーク研究 | 17) グループワーク実践 |
| 18) グループワークの反省 | 19) フィードバック |
| 20) 自らの問題意識の醸成 | 21) 自らの関心を深める |
| 22) 生活問題と社会問題 | 23) 調査・研究を進める |
| 24) 対象課題と地域づくり | 25) 地域で具体的に改善するには |
| 26) 地域づくりに関わる | 27) 地域づくりを担う人々から学ぶ |
| 28) 卒業論文執筆 | 29) 卒業論文指導 |
| 30) 卒業論文完成 | |

*なお、受講生の状況などによって内容を変更する可能性がある。

教材・テキスト・参考文献等

参考文献や資料は必要に応じて、講義時に配付する。

成績評価方法

自らのテーマについてのゼミ発表や、卒業論文、ゼミへの積極的な参加度などを総合し評価する。

その他

「楽しく・おもしろく」が私の担当する演習の大原則です。そして、「時には少し真面目に」社会の出来事や生活の身の回りのことなどを取り上げて考えてみましょう。

本演習は受講生の自主的な行動とグループでの協同行動を基盤とします。